

「分娩と麻酔」 投稿規定

(2016年3月11日改定)

1. 投稿にあたって

- 1) 投稿者は原則として、日本産科麻酔学会の会員とする。ただし、非会員であっても、編集委員会で承認された場合はこの限りではない。なお非会員には所定の掲載料を請求する場合がある。
- 2) 本誌は、何等かの形で産科麻酔学（産科麻酔学・産科蘇生学・産科救急医学・産科集中治療医学）を含む和文・英文原稿を広く受けつける。一般投稿論文（原著・総説・症例報告）、日本産科麻酔学会学術集会発表内容論文（講演・シンポジウム・ディベート・一般演題など）、文献紹介、学会報告、座談会、随筆、その他が含まれる。
- 3) 一般投稿論文では、所属施設の承認と患者の許諾に関して本文中に適切な形で明記すること。承認や許諾について編集委員会が必要と認めた場合には、関係書類の提出を求める場合がある。
- 4) 一般投稿論文の内容は他誌に未発表であり、また投稿中でないことが必要である。
- 5) 誓約書に、著者全員が署名・捺印し添付のこと。
- 6) 利益相反に関するチェックリストに記入をし、添付のこと。
- 7) 一般投稿論文では複数の査読者による査読が行われ、査読者の見解を踏まえ編集委員会において論文の採否を決定する。日本産科麻酔学会学術集会発表内容論文、文献紹介、学会報告、座談会、随筆、その他は査読はなく、編集委員会において採否を決定する。日本産科麻酔学会学術集会において発表した一般演題であっても査読を希望するものは一般投稿論文として投稿することができる。
- 8) 掲載された文章の著作権は日本産科麻酔学会に属する。

2. 執筆にあたって

1) 構成

- ① 原稿の種類を問わず、1ページ目に表題、著者名、所属機関名、代表著者連絡先（氏名、住所、所属機関名、電話番号、メールアドレス）、原稿論文の枚数と字数、図表の点数を記す。
- ② 以後の構成は表1に従う

表 1

原稿の種別		構成
一般投稿論文	原著	A
	総説	C
	症例報告	B
学術集会発表論文	講演, シンポジウム, ディベート	C

	一般演題	基礎・臨床研究	A ただし英文抄録は不要
		症例報告	B ただし英文抄録は不要
文献紹介, 学会報告, 随筆, 座談会, その他			C

- A : 要約 (和文原稿 600 字以内, 英文原稿 200 語以内), 緒言, 方法, 結果, 考察, 結論, 参考文献の順に記載し, 別に図表を付ける. また和文原稿の場合は 200 語以内の英文抄録を添える. この英文抄録は **Introduction, Results** などの見出し語を必要としない (**unstructured abstract**). また英文抄録はネイティブスピーカーによるチェックを受けたものとする.
- B : 要約 (和文原稿 300 字以内, 英文原稿 150 語以内), 緒言, 症例提示, 考察, 結論, 参考文献の順に記載し, 別に図表を付ける. さらに和文の場合には 150 語以内の英文抄録を添付する. この英文抄録には **Introduction, Results** などの見出し語を必要としない (**unstructured abstract**). また英文抄録はネイティブスピーカーによるチェックを受けたものとする.
- C : 指定された構成はない.

2) 字数制限

表 2

原稿の種別		字数制限		
		日本語 (字数)	英語 (語数)	
一般投稿論文	原著	10000	5000	
	総説	12000	5000	
	症例報告	6000	1500	
学術集会発表論文	講演	12000	5000	
	シンポジウム, ディベート	6000	1500	
	一般演題	基礎・臨床研究	10000	5000
		症例報告	6000	1500
文献紹介		3000	*	
学会報告		3000	*	
随筆		3000	*	
座談会, その他		*	*	

字数制限は要約・文献・図表を含む. 図表は大 1 点 800 字 (320 語), 小 1 点 400 字 (160 語) 相当とする.

*は編集部にお問い合わせのこと。

3) 原稿の作成

- ① 文書は Microsoft 社の Word を用いて作成し、楷書、常用漢字、現代かなづかい、横書きで記載する。表は Word あるいは Excel、図は Powerpoint あるいは JPEG 形式で作成のこと。
- ② A4 縦、和文文字 10.5 ポイント、英文文字 12 ポイント、ダブルスペース、各ページにページ番号・行番号を入れ印刷する。
- ③ 図表は本文中に貼りつけず、必ず 1 枚ずつ別紙に貼付する。図と表とでそれぞれ通し番号をつける。図 1 (Fig.1)、表 1 (Table1) のように書き、各々にタイトルが必要。写真の解像度は 300 dpi 以上 (X 線フィルム、スライドは不可)。以上の図表の挿入位置を文中に明記のこと。

4) 用語

- ① 医学用語は「麻酔科用語集」(日本麻酔科学会編)、「産科婦人科用語集・用語解説集」(日本産科婦人科学会編)、日本医学会医学用語辞典(日本医学会医学用語管理委員会編)に従う。
- ② 科学物質名、薬品名、器械名は一般名で記述し、商品名で記述する必要がある場合は、® や TM などを付記する。薬品名は、原則としてカタカナ書きとする。
- ③ 外国人名、地名は原語で記述する。ただし適当な和訳のあるもの、慣用されているものは和文で記述する。〔例〕トレンデレンブルグ位
- ④ 度量衡の単位は SI 単位系を原則とするが、日常臨床で広く用いられている mmHg, ml なども認める。除算は「mg/kg/hr」のように記す。

5) 引用文献

文中に引用順に肩つき番号を付け、本文末尾に番号順にまとめる。

- ① 雑誌：題名．誌名(正式略称) 発行年(西暦)；巻数：開始頁－終了頁(略記)。
〔例〕真砂佳代，長田理，矢島直ほか．フェンタニルを併用したプロポフォール TCI (target-controlled infusion) 投与方法における入眠成功率．麻酔 1999;48：256-9.
Ueki R, Okutani R, Fukushima A, et al. Perioperative endocrinological findings in a patient with Bartter's syndrome and living-related renal transplantation. J Anesth 2000;14:105-8.
- ② 書籍：著者名．章名．編集者名．書名．(巻数．版数．) 発行都市名：出版社名；発行年(西暦)．開始頁－終了頁(略記)。
〔例〕松井一幸，菊池博達，体温(体温下降，悪性高熱症)．稲田 豊，藤田昌雄，山本 亨編．最新麻酔科学．下巻．改訂第2版．東京：克誠堂出版；1995． p.1639-45.
Mori K, Shingu K, Nakao S. Brain death. In : Miller RD, editor. Miller's anesthesia. Vol 2. 6th ed. New York : Churchill Livingstone ; 2005. p.2955-70.

- ③ 英文論文中の和文文献引用：雑誌名は公式欧文略号を用いる。それがない場合や和文書籍の場合は日本語名をそのままローマ字書きとする。いずれの場合も (In Japanese) と註記する。

3. その他

- 1) 掲載料：本誌は原則として掲載料を徴集しないが、下記に対して実費を申し受ける。
 - ① 特別早期掲載：速やかな掲載を希望するときには特別早期掲載として取り扱う。この場合の論文掲載料は、全額著者負担となる。
 - ② カラー印刷：カラー印刷料金分のみ著者負担
 - ③ 超過頁：超過分のみ著者負担
- 2) 校正：掲載論文の印刷は初校のみ著者校正とする。この際には組版面積に影響を与えるような改変は許されない。
- 3) 別刷：別刷の希望部数は著者校正の際に、校正印刷に朱書のこと。30部は無料で寄贈。それ以上は50部単位で有料とする。

4. 論文原稿の掲載順位

論文の掲載は論文受理の順を原則とするが、編集技術上若干前後することもある。編集委員会に一任のこと。

5. 原稿の送付

原稿は印刷したものを3部、原稿ファイルを保存したCD-ROMを書留便にて下記宛に送付のこと。

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-23-5-202

克誠堂出版株式会社 内

「分娩と麻酔」編集室

TEL(03)3811-0995

FAX(03)3813-1866